

報告事項 No. 3 資料 1

「第2期川崎市青少年科学館運営基本計画（案）」に関する 意見募集の結果について

1 概要

平成24年4月にリニューアルオープンした「川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）」では、新たな施設機能を十分にいかした科学館事業における中長期計画として、「川崎市青少年科学館運営基本計画」を平成24年3月に策定し、博物館として様々な事業に取り組んでまいりました。

この度、令和5年度からおおむね10年間を計画期間とする「第2期川崎市青少年科学館運営基本計画（案）」を取りまとめ、市民の皆様から御意見を募集しました。

その結果、5通（意見総数9件）の御意見を、市民説明会では9件の御意見をいただきましたので、その内容とそれに対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

（1）パブリックコメント手続

題名	「第2期川崎市青少年科学館運営基本計画（案）」について
意見の募集期間	令和5（2023）年1月24日（火）～令和5（2023）年2月22日（水）
意見の提出方法	電子メール（ホームページ専用フォームを含む）、FAX、郵送、持参
募集の周知方法	・市ホームページ ・青少年科学館SNS ・紙資料の閲覧 かわさき情報プラザ、各区役所市政資料コーナー、支所・出張所 教育文化会館・市民館・図書館（分館含む）、青少年科学館 ・市民説明会の開催（青少年科学館 1回）
結果の公表方法	・市ホームページ ・紙資料の閲覧 かわさき情報プラザ、各区役所市政資料コーナー、支所・出張所 教育文化会館・市民館・図書館（分館含む）、青少年科学館

（2）市民説明会

開催の周知方法	・市ホームページ ・青少年科学館SNS ・市民意見募集チラシに記載
会場	青少年科学館
日時	令和5（2023）年2月5日（日）15:00～16:00
参加人数	4人

3 結果の概要

(1) パブリックコメント手続

意見提出数		5通
(内訳)	電子メール（ホームページ専用フォームを含む）	4通
	F A X	1通
	郵送	0通
	持参	0通
意見総数		9件

(2) 市民説明会

意見者数	4名
意見総数	9件

4 御意見の内容と対応

「第2期川崎市青少年科学館運営基本計画（案）」に対して、具体的な実施事業についての意見の他、職員の研究体制についての意見、通称名についての意見等が寄せられました。

寄せられた意見がおおむね、今後、博物館事業を実施していく上で参考とするものであったことから、用語・用字の修正を行った上で、案のとおり「第2期川崎市青少年科学館運営基本計画」を策定します。

【対応区分】

- A 御意見を踏まえ、案を加筆・修正するもの
- B 御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見を踏まえ取組を推進するもの
- C 今後取組を進める中で、参考とするもの
- D 案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E その他

【パブリックコメント手続における御意見の件数と対応区分】

項 目	A	B	C	D	E	計
「1 第2期川崎市青少年科学館運営基本計画策定にあたって」に関する事						
「2 基本理念と基本方針」に関する事						
「3 事業計画」に関する事			5	2		7
「4 管理運営計画」に関する事			1			1
「5 進行管理」に関する事						
その他に関する事					1	1
合 計			6	2	1	9

具体的な御意見の内容と市の考え方については、次ページ以降を御参照ください。

「3 事業計画」に関すること

番号	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	「宙と緑の科学館」なので、天体と自然に力点が置かれているのは、しかたがないと思うが、小学校でプログラミング教育が必修化されており、これからの科学技術としてロボットやドローンなどのプログラミングに力を入れてはどうか。	急速に進展するデジタル化に対応した事業の推進は課題の一つととらえており、市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、御意見も参考としながら、科学を体験できる様々な教室を開催してまいります。	C
2	ワークショップや観察会など体験型のイベントで、小学校1年生や未就学児が参加出来るものをもっと増やして欲しい。	市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、御意見も参考としながら、子どもから大人までの様々な年代が参加・体験できる教育普及事業を実施してまいります。	C
3	観察会など申込み多数で抽選になる場合、非常に競争率が高く落選が多いと感じている。回数を増やすなど競争倍率を低くする工夫をして欲しい。	教育普及事業については、観察会など誰もが当日自由に参加できるイベントを開催していましたが、新型コロナウイルス感染症予防等の観点から定員を制限するなど、イベントによっては参加できない方が生じてしまう状況となっております。今後、御意見も参考としながら、社会状況・生活様式の変化に対応するとともに、より多くの市民が参加・体験できる開催方法等について、検討してまいります。	C
4	日本民家園などと情報連携を行い、同日同時時間帯のイベントが重ならないようにして欲しい。	生田緑地内の各施設と連携・協働することで、回遊性を高め生田緑地全体の魅力の向上をめざすこととしておりますので、御意見も参考としながら、各施設と連携し、利便性を考慮した教育普及事業等の実施に努めてまいります。	C
5	もっと多くの子どもに科学の楽しさを伝え、学習意欲の向上につながるように、学校団体向けに科学館で『玉手箱』を活用した実験教室を、市民団体との協働で開催することを提案する。	子どもたちに科学の楽しさを伝えるために、市民協働にて教材の開発・改良に取り組んでおり、今後も科学教育分野において、学校支援につながるよう、御意見も参考としながら、玉手箱教材の活用に努めてまいります。	C

番号	意見の要旨	本市の考え方	区分
6	<p>調査研究が、市民と協働して行える研究に限定されている。学会などへの参加や研究費など、職員に対して研究者としてのミニマムな補償を行い、数年に1本は学術論文が出版できるための体制や、外部資金を得られる体制を整えるべきである。職員の自由な発想による研究ができないと、研究のおもしろさが体现できず、市民に対する研究支援もできない。その点の言及と目標設定が必要と考える。</p>	<p>市域の博物館として、市民の多様な生涯学習意欲への対応を図り、地域の多様な主体が担うまちづくりを推進するため、市民協働による調査研究を進めるとともに、学芸担当職員が、展示や教育普及への活用も視野に入れた、計画的かつ地域性を備えた専門性の高い調査を行い、その研究成果を市民に公表することで、川崎市域の自然に対する理解を深めてまいります。</p>	D
7	<p>標本学や天文学のような歴史の長いこれらの学問は、これからも人類にとって重要な学問体系であることに疑いはなく、多くの人々が学ぶ価値あるものである。デジタル化について懸念がある。多くの科学分野はアナログで、そのために地道な作業の連続と、その末にある新しい世界の発見と感動が生じる。動物園、水族館、科学館でも子どもたちは自身の目で見て学ばなければならない。アナログ化によって業務に支障がきたす状況であれば、デジタル化という言葉に振り回されているだけで誰のためにもならず、科学者にはもっと科学的業務へ没頭してもらうべきである。</p>	<p>展示を活かした学習プログラムやフィールドワーク、実験等、体感・体験できる講座を提供し、実体験に基づいた生きた知恵を育てることとしておりますので、今後も、急速に進展するデジタル化に対応するとともに、基本方針の1つである「体験する博物館」も踏まえながら、教育普及事業を実施してまいります。</p>	D

「4 管理運営計画」に関すること

番号	意見の要旨	本市の考え方	区分
8	カフェの注文に時間がかかる。食券やタッチパネルの導入によりレジ対応を非属人化するなど、注文するために要する時間を削減して欲しい。	科学館の魅力を高めるため、カフェテリア、ショップのサービス向上に取り組むこととしておりますので、御意見も参考としながら、サービスの向上と改善に努めてまいります。	C

その他に関すること

番号	意見の要旨	本市の考え方	区分
9	科学館の通称名として宇宙の「宙」を「そら」と読んでいるが、誤用であり「青少年科学館」にふさわしいか、有識者などによる確認をしたのか、疑問である。	通称名については広く募集を行い、宇宙のイメージと緑地のイメージが美しく表現され、来館者投票でも最も人気があったことから、学校の教育職員を含む「川崎市青少年科学館施設愛称等選考委員会」で審査のうえ、決定しました。すでに定着し、親しまれていることから、今後もこの通称名を使用してまいります。	E

【参考】 市民説明会における意見等と本市の考え方（9件）

番号	意見の要旨	本市の考え方
1	青少年科学館という子どもが対象という印象を受ける。通称名として「かわさき宙と緑の科学館」を使用するようになり、定着しており、通称名を名称にしてはどうか。	科学館の名称、通称とも市民に親しまれていることから、名称は「川崎市青少年科学館」といたしますが、名称の変更については、今後も科学館をめぐる状況の変化等を踏まえ、適切に対応してまいります。
2	科学館のプラネタリウムである MEGASTAR-III FUSION は世界に誇れるものであり、開発者を招いたシンポジウムを開催したこともあったと思う。今後もそのような事業を実施して欲しい。	御意見も参考としながら、当館と縁のある方々と連携した講演会など、今後も魅力的な教育普及事業を実施してまいります。
3	昆虫の展示物に足が欠けているなど欠品が多い。教育的にも問題なので直して欲しい。	欠損のある資料については適宜取り換えるなど、対応してまいります。
4	環境教育に関する学校支援として、季節に左右されずに学習できるように、生田緑地だけではなく海や川も含めた川崎市全体の資料として、1年を通じたデジタル映像の制作や、収集保存などしてほしい。	環境教育に関する学校支援については、御意見も参考としながら、今後も地域の博物館としての役割を意識し、学校の教育課程に沿った支援に努めてまいります。
5	昔の漁法についての本など、多摩川に関する資料を公にするために、科学館で保存してほしい。	川崎に縁があるものを中心に幅広く自然に関する資料を収集してまいります。受入資料の選定については、その内容等を踏まえながら、個別に判断を行ってまいります。
6	館内展示を見直すと、大地の成り立ちなど長い時間の流れを学ぶことができるが、さらに宇宙誕生からの138億年を意識できる展示や、私たちが暮らしている時間の中で地球の環境が変化したことを視点とした企画を要望したい。	新たな課題として挙げている環境教育やSDGs等も含め、今後の十年間でどのような内容を市民や来館者に伝えることができるか、御意見も参考としながら、講座や企画展示など教育普及事業を実施してまいります。
7	科学館は川崎の宝であり、今後も様々な形で市民に情報発信してほしい。市北部にある科学館は東京西部や県内の他の地域と繋がる場所に立地している。東京・埼玉・神奈川などの周辺地域の博物館と連携した取組を行うことで、科学館の価値を市民にアピールできると考える。	博物館法が改正され、今後は、博物館の基本的な使命である事業に加え、他の博物館等と連携すること、及び地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動を図り、地域の活力の向上に取り組むことが求められています。科学館においても、博物館など周辺の様々な施設の専門性や地域性を生かして連携することで、価値の向上に努めてまいります。

番号	意見の要旨	本市の考え方
8	カフェが存在自体あまり知られていない。メニューなどを充実させてほしい。	科学館のイメージに沿った店舗作りや特別メニューの提供など、実施してまいりましたが、今後もカフェテリアの事業者と、より連携を図りながら利用者サービスの向上に努めてまいります。
9	プラネタリウムの星空の下でのコンサートは素晴らしい。今後も実施して欲しい。	御意見も参考としながら、今後も音楽等、他の芸術分野と融合した事業について、多様な事業主体と連携して実施してまいります。